

ひび着論力持て  
本校長は話す。  
子どもの実態を  
常の授業にも配  
うになった。羽

き、各学年で毎日宿題を  
出す。中学の授業に慣れ  
くりが課題と聞  
るよう教科担任制も、校



長間、職員間で話し合い、  
課題があれば何かアイデ  
アが出てくるのはこの学  
区の特徴」と佐藤校長。  
2月には市教委から小  
中一貫教育の「ベース・  
カリキュラム」が提示さ  
れてくる。同ブロックで

# 中学校 実践

は、まず自前のカリキュ  
ラムを作り、提示内容を  
使い検証するつもり。  
大西校長は学校文化の  
違いを認めた上で、「ブ  
ロセスを大事にしたい。  
P D C AのうちC A、C  
Aを積み重ね、年々修正  
2・5803

関係づく  
このよう  
がよく分  
畢障書の  
が読め  
うえられ  
なると、気になる生徒は目  
立たなくなっていく。「Q  
「U」を行うと、学級が変  
わったことが図上で分かる  
ようになる。気になってい  
た生徒には、自己肯定感や  
学級への貢献感がわき、学  
級への所属感が育っていく  
のである。



校長ら教職  
員17人がア  
クティビテ  
ィーを体験  
した。写真  
真。

## 生徒育てよ

「なる子  
ではな  
生徒を  
なる。  
気にな  
。」「  
目指す  
「ごめ  
「とい  
学級に  
いで見守ることを原則とす  
る。人間の行動には目的が  
あり、相手役がいると言わ  
れている。学校における不  
適切な行動の目的は、ほと  
んどが「注目を引く」こと  
にある。相手は教師である  
ことが多く、注目をすれば  
するほど、注意をすればす  
るほど不適切な行動は増え  
るのである。

そこで、教師は、不適切  
な行動には注目せず、強く  
反応したり注意したりもし  
ないで、見守るようにする。  
大げさに反応しないで、そ  
っと見守るのである。  
少しでも不適切な行動を  
やめて静かになったら、そ  
のことに注目し、さりげな  
く勇気づけるような言葉掛  
けを行うことがコツであ  
る。すると、認められたと  
思い、適切な行動が増える。  
気になる行動は減り、やが  
ては目立たなくなる。周り  
の生徒たちも教師の行動を  
見て、その意味を学ぶよう  
になる。  
Q—U型学級経営は、安  
心・安全、自尊・承認への  
欲求を満たす「勇気づけの  
学級経営」である。  
次回は、生徒にも教師に  
も居心地のよい学級づくり  
について具体的に述べた  
い。

### 東京・足立区立第六中の教職員研修 ドラマ手法の 表現教育を体験

東京都足立区立第六中  
学校（櫻井慎一郎校長、  
生徒288人）はこのほ  
ど、校内研修会にドラマ  
ケーション普及センター  
の正嘉昭氏を招き、櫻井  
78・7548

2010.2.8 日経教育新聞

平成22年度  
**標準**  
初心者を含む情報通信利  
関する意識や知識の重要

どなたでも  
応募できます

標語の応募/募